

☆リサイクルセンターたより☆

桜の開花は例年より早かったのに、その後3月の気候に逆戻りして、寒い日が続き、桜の花は長く眺めることができたものの、あまりの寒さに花見気分を楽しめなかったような気がする春の始まりでした。

皆様も、寒くてなかなか衣替えが進まないようで、リサイクルセンターへの古着の持ち込みが、今のところ、例年より少ないようで、ウェスの材料が不足気味です。一方、ウェスをご利用の製造業等分野はお忙しいようで、たくさん注文をいただき、皆できる限り、一生懸命に、そして楽しみながらウェス作りに励んでおります。

以前から、常連の方々より介護相談等を承っておりますが、時々ご家族が利用されている介護施設や事業所のスタッフの対応の仕方や、そこでの怪我、事故等の発生により、不安な気持ちを話されることがあります。多分家族としては、そんな気持ちをどこに話し、不安をどのように解消したらよいかかわからず、日々悶々とされてきた気持ちがよくわかります。本来は、直接利用している施設のスタッフに話できたらよいのですが、話できないということは、そこに信頼できるスタッフがいらないということで、それこそが一番の問題ではないでしょうか？ 高齢者の場合は、地区の包括支援センターも関わりがあるので、そちらへのご相談もお勧めします。尚、先ほどのご相談の方は、他施設への変更をお考えで、見学に回っているそうです。

以上のお話を伺うと、他人ごとではなく、果たしてラッコハウスはどうなのか？ と自問自答せざるを得ません。利用者はもちろん保護者や関係者の皆様方から、気軽にご相談、ご意見、お叱りの言葉などを言いやすいスタッフの存在とスタッフ養成こそが、福祉施設として大事なことを再認識させていただきました。ありがとうございます。今後もいろんなお話をお聞かせいただきますようお願いいたします。

5月カレンダー

- 10日(日) 資源回収
- 11日(月) 代休
- 21日(木) カラオケ大会(自治会行事)

6月の資源回収は、7日(日)の予定です

社会福祉法人ラッコハウス

ラッコハウスをそだてる会事務局

〒939-8003

富山県 富山市 西公文名町 4-17

電話 076-493-0250

FAX 076-493-4441

Eメール raccohouse@pop21.odn.ne.jp

Web http://www2.odn.ne.jp/raccohouse/

みなさまのお声を
お待ちしております！

あなたも「ラッコハウスをそだてる会」(後援会) 会員に！

ラッコハウスの活動に賛同される方に、ぜひご支援していただけますようお願いいたします。

年会費 ●個人 一口 3,000円 ●団体 一口 5,000円

口座 郵便振替 00730-3-12867 (ラッコハウスをそだてる会)

会員の方には、この機関紙「宇宙」を毎月お送り致します。



5月号

- 1: 西公文名町公園にて
- 2: ヒヤリハット活動の重要性
- 3: 後片付け 新しい仲間
- 4: リサイクルたより

新緑の季節がやってきました



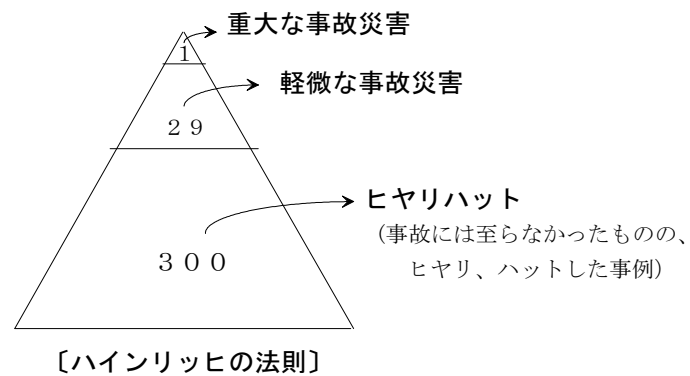
(左から、織田さん、吉岡さん、副田さん、早坂さん)

ラッコハウス本館と作業棟を往来する途中に西公文名町公園があります。時々、公園内のブランコやすべり台で遊んでから、作業棟へ行ったり、本館に帰ったり、皆さんにとってちょっとした息抜きの場になっています。

今この季節、新緑に包まれた公園内は、周辺を通る人達にとっても、街の中のオアシスのようです。

ヒヤリハット活動の重要性

今やあらゆる分野で、安全確保のために応用されている「ハインリッヒの法則」をご存じの方は多いことでしょう。



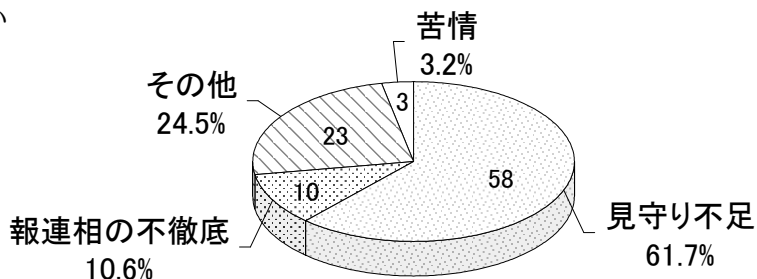
最も大切なことは、スタッフ一人一人がまずはヒヤリハットに気付くこと、そして報告し、話し合える環境が重要と云えるでしょう。

10年前のJR福知山線脱線事故では、JR西日本の現場では、一つのミスに対しその個人に懲罰をもって職場の規律を守らせようとした体制こそヒヤリハットを報告しづらい社内環境にしたのではないかと問題視されました。同様に、パワーハラスメント、セクシャルハラスメントが水面下で常習化している職場環境においても、たとえヒヤリハットに気付いたとしても、報告し、話し合える雰囲気ではなく、事故発生の可能性は高いと云えるでしょう。

ラッコハウスでは2年前より、日々、ヒヤリハットの気付きを話しあい、その都度対処、改善に努めてきました。そして昨年より毎月1回第三者委員会を開催し、前月に起こったヒヤリハットはもちろんのこと、利用者・保護者から寄せられた苦情・ご意見を報告し、第三者委員から貴重なアドバイスをいただきながら、利用者にとって安心安全な環境づくりに心がけております。

これからもより多くの皆様からのご意見を頂戴し、それを「宝」として、よりよい環境づくりに努めていきたいと思っております。

ヒヤリ・ハットとは
重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例の発見をいう。文字通り、「突発的な事象やミスにヒヤリとしたり、ハットしたりするもの」である。ヒヤリ・ハットは、結果として事故に至らなかったものであるため、見過ごされてしまうことが多い。すなわち「ああよかった」と、直ぐに忘れがちになってしまうものである。しかし、重大な事故が発生した際には、その前に多くのヒヤリ・ハットが潜んでいる可能性があり、ヒヤリ・ハットの事例を集めることで重大な災害や事故を予防することができる。そこで、職場や作業現場などではあえて各個人が経験したヒヤリ・ハットの情報を公開し蓄積または共有することによって、重大な災害や事故の発生を未然に防止する活動が行われている。ハインリッヒの法則は、「重大事故の陰に29倍の軽度事故と、300倍のニアミス（ヒヤリハット）が存在する」ということを示したもので、この活動の根拠となっている。



※ラッコハウスでは、2013年11月～2015年2月の期間にヒヤリハットの記録が94件ありました。

内訳は右のグラフの通りです。

ラッコハウスの日常 食事の後片付け



あまり野菜が好きでなかった南保啓さんは、しらとり養護学校高等部1年の夏休みから、休みとなればラッコハウスにいられていたため、10年以上がたち、今では好き嫌いがなく何でも食べられるようになったものの、つついあせって食べこぼしてしまいます。

しかし、食後は自分の食べこぼしは自分で掃除できるまでに成長しました。

新しい仲間を迎えました

塩谷 令汰 (りょうた) さん

4月21日から、毎週火曜日週1回のご利用が始まりました。

先輩で仲の良い沖野さんと会い、話せるのを大変楽しみにされています。

又、広いスペースで久しぶりの歩行訓練ができるので、今後の活動範囲がますます広がることを期待します。



(歩行訓練：塩谷さん、江崎P.T.)

ラッコハウスをそだてる会 後援会通信

■ 4 月 度 新 規 ・ 更 新 会 員

牧山真理子様 松岡登記測量事務所松岡和男様
沢田健寿・柁子様 酒井久雄様 永井節子様
義基みゑ子様 広野幹夫様

■ ご寄付をいただきました

(株)広野商会様 匿名で2名様
【物品】南保 啓様、加藤 剛様

以上、4月20日現在、順不同
どうもありがとうございました。